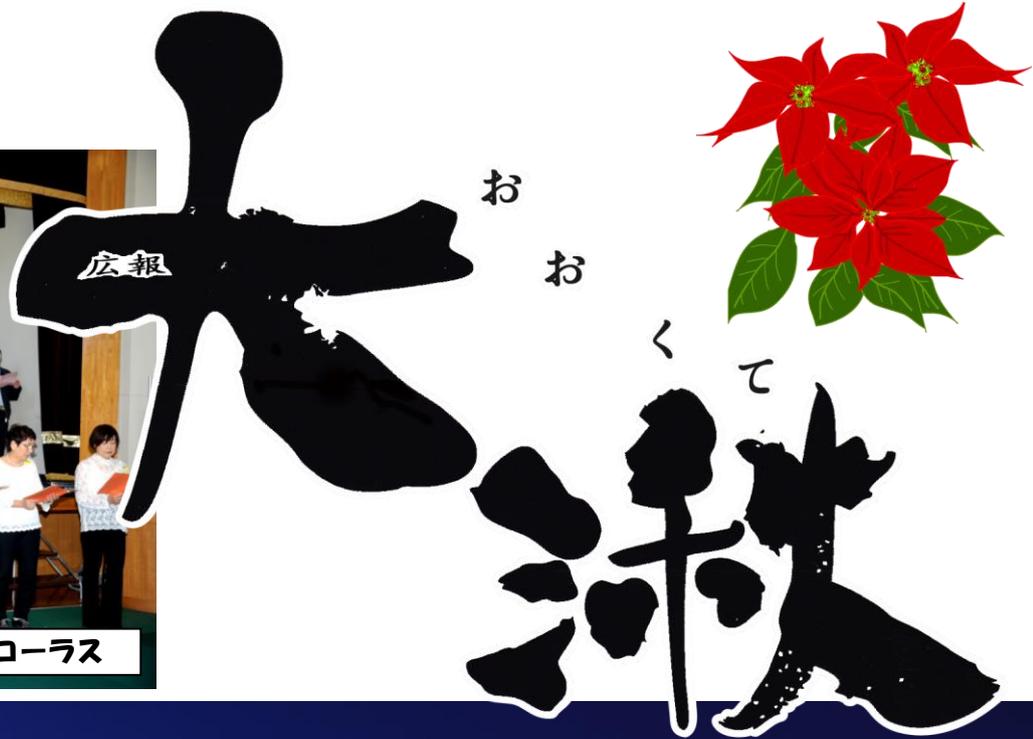


平成 29 年 12 月
第 377 号



おもな内容

・文化祭	…P2
・旧大湫小学校の思い出	…P3
・フラダンス「ひよも」	…P4
・趣味(男)の料理教室	…P6～P7
・市寿大学合同研修	…P8～P9

静寂の晩秋にライトアップ！

幕引き前の大舞台を飾る旧大湫小学校



大湫らしい文化祭だったわぁ！

アットホーム的でいいね…



オオ！樋田議員やがねえ

アレッ！今年は男性コーラス員がおるわぁ！



私達、姉弟に「芸能の部」進行任せて。長谷川館長と頑張ります



大湫町文化祭

11月3日(祝・金)



天気にも恵まれ、大勢来てくれたし良かったのぉ～

温かく 暖かい



窓越しにこぼれる日差しがとても暖かくそして、人々の温かさを肌で感じる事が出来た文化祭。皆さんはどう感じましたか？



参加くださいました町民の皆様そして、ご来場くださいました皆様ありがとうございました。

スタッフ並びに中高生ボランティアの皆さんお疲れ様でした。来年もよろしくお願ひします。

旧大湫小の思い出



シュロの樹

香山四一

本陣山を後に控え凸型の小学校、山の緑と赤い屋根が程よくマッチしています。仁王様の様に玄関にそびえ立ち 50 有余年の間学校を守り続けたシュロの樹、この樹も学校と運命を共にするかと思うと残念であります。

この樹は昭和 33 年度卒業生の記念樹であります。私達 9 名（男子 3 名・女子 6 名）が小学校を飛び立つ証しとして植樹した樹です。出来るならば残して欲しいです。学校が出来始めたのは私達が 4・5 年生の頃でした。旧校舎の北側の丘に新築される校舎をワクワクしながら見ていたのを思い出します。高学年の子ども達は労働力として毎日少しずつお手伝いをしていました。今でも鮮明に残っているのは、屋根瓦上げでした。下級生は梯子の下段、上級生はその上段に腰かけ、手送りで瓦を上げたものでした。今ではとても許される事ではないでしょう。私達の一つ上の先輩は新築された校舎に入ることなく卒業されました。私達が一期生として卒業しました。

校舎内はケントク（ワックス）の臭いで充満するほど、生徒達は毎日ワックス掛けをおこなっていました。

恐い先生、つるつるの廊下・階段等、色々の事が思い起こされます。これからは全ての事が無かったかの様に学校の記憶が薄れてゆくのが残念です。跡地が草の生い茂った原野にならない様に願っています。文化祭では貴重なアルバムを見せていただき瞬時に昔のことを思い出しました。

ありがとうございました。

次回は、現校舎の第二回卒業生
渡邊隆吉氏です



青色回転灯防犯パトロール

12月のパトロール予定者

12/上旬：足立 亘,奥村 寛

12/下旬：三戸憲和,渡辺貴憲

小春日和のフラダンス

今年はちょうど良い日が少なく、一気に冬空になってしまいました。

11月1日の「ひよも」のお茶のみ会は、幸い暖を入れると汗ばむような日になり、皆さんが心待ちにしていた元大湫小学校教諭Sさんの所属している釜戸コミュニティー自主グループによるフラダンス「レイ・コレア」の皆さんによる優雅な踊りを見せていただきました。



まず披露してくださった「レイ・コレア」のメンバーからの感想を先に。
◎大湫の皆さんのお元気さには驚きました。座って一緒に手を動かしてくださり、踊っている私たちも一層気持ちに力が入り楽しく過ごすことができました。皆さんに元気をいただくことができました。との嬉しいお言葉をいただきました。

それでは観賞した面々の感想をご紹介します。

- よかった。初めてフラダンスを見ることができ感動した。
- 「レイ・コレア」の皆さんのしなしなとした手つきがすばらしいと思った。あのようにはできなかったけど、一緒に踊れてよかった。
- レイをかけてもらい、一緒に踊っている気分を十分味わうことができ楽しかった。
- 綺麗な人ばかりで見とれてしまった。
- 踊りもすばらしかったけど衣装もすばらしかった。よかった。
- 気さくに声かけしてくださり、心も和むことができ嬉しかった。また来てほしい。

これから寒くなる一方の大湫、夏の思い出とフラダンスの動きを真ね、気



落ちしてしまいそうな日は「レイ・コレア」の皆さんと共に過ごした一時を浮かべながら過ごしたいと思います。

どちらもお疲れさまでした。

リ・アップ「ひよも」

集まろう会 11月12日(日)

“一日で
3つもやい
ました。”

いもほり

やき芋

石に絵を描こう教室

(みんなの感想)

- ・新しい大湫発見があった。
須山さんに住んでもらってうれしい。
- ・何年ぶりかの芋ほりで、楽しかった。
- ・芋ほりは、大きな芋にびっくりした。
- ・芋ほりでは、おもしろい大きさの芋があって、楽しかった。
- ・いろんな景色とか、知らなかったところが発見できて良かった。
- ・「石に絵を描こう」は、親子で大喜び。
- ・石で、あんなに書けるとはすごい。
- ・森さんが芋を上手に焼いて下さって、ありがとうございました。
- ・どんぐりや松ぼっくりを使ってまた描きたいね。

赤ちゃん誕生

おめでとうございます

11月12日 長女誕生

お父さん K・U さん

お母さん K・K さん



趣味（男）の料理教室に参加しました

棚橋 雅美

11月14日に実施された趣味（男）の料理教室に参加させていただきました。当日は参加者が約10名で、行った料理は鯛を三枚におろし刺身を作る内容でした。講師は三重県ですし屋を開業されている森本ご夫妻に指導していただき、和気あいあいと楽しく料理することができました。



まず初めに講師から魚を「しめる」ことの大切さを教えていただきました。これは釣った魚は持ち帰るときに必ず血抜きをして神経を殺し、身に

血を残さない作業をすることで、このひと手間により刺身の味や鮮度そして長く保存させることが出来るそうです。



次に魚を三枚におろし刺身を作る方法ですが、やはりこの作業は日頃経験することが無く、骨に沿って包丁で切っていく感覚など、数をこなさないとわからないことを痛感しました。

そして料理はよく切れる包丁を使うこと。どんな料理でも包丁の切れ味は大切ですが、日ごろ包丁を研がないし研ぎ方もわからない。今回料理教室の為に、事前に出刃包丁を研いで参加したのですが、自己流であり、なかなか魚をさばくことが出来ず苦勞しました。

料理終了後に包丁の研ぎ方についても色々と教えていただき、非常に参考になりました。

最後に今回の料理教室では、料理方法だけでなく、魚のしめ方や包丁の研ぎ方等、幅広く教えていただいたのは、とても良かったと思います。次回開催を楽しみにしています。

男の料理教室を終えて

北澤健次

四日市の「ちどり寿司」の森本さんご夫婦を講師としてお招きして、10数人の町民の皆さんが集まり、魚のおろし方の講習をしていただきました。

町内の「海釣り」同好の方が前日に釣りに行き、美しい鯛をご用意して

いただきました。まず森本さんが、これも前日釣った立派なブリを出刃包丁でおろしたのですが、その切れ味の凄さに驚きました。魚の向き・おろす手順・包丁の入れ方・美味しい魚の絞め方など、詳しく丁寧に教えていただきました。ブリをおろす無駄の無い見事な包丁さばきは、見ていて気持ち良く、この技を身に付けるまでの長い年月・努力やご苦労などを思い、憧れと尊敬を持って拝見いたしました。

さて、自分達の番になりますと、見ていた筈の手順は忘れ、おろした魚の中骨には身が沢山付いてたり、刺身にする為皮を引いたものの途中で切れたり少し残ったり。それでも自分でおろした刺身は美味しいのです。(元々魚が良かったのですが)



最後に森本さんが皆の為に、巻き寿司・いなり寿司、そして最初におろしたブリでにぎり寿司をご馳走してくださいました。流石寿司職人の技、寿司をにぎる姿も流れる様に美しく、本当に美味しかったです。

そのご主人の後で、さり気無くサポートされている奥様の姿を拝見して、お店でのご様子も想像出来、とても羨ましく思いました。

私は時々魚を分けていただき、自宅でおろす事もありますが、これからは森本さんの遥か遠く及ばない技、姿を思い出しながら、自分なりに味わいたいと思います。

今回の「男の料理教室」は本当に楽しく、有意義な一時でありました。企画していただきました大湫公民館の皆様、遥々四日市からお出でいただきました森本さんご夫婦、そしてこの日の為に新鮮な鯛をご用意していただきました「海釣り」同好の皆様にご心より感謝致しますとともに、2回目の教室開催をお願いしたいと思います。ありがとうございました。

オススメ！大湫分室の本
「20世紀を知る
21世紀の問題の原点」

広瀬一郎：著
さまざまな問題が起こっている現在。その問題の原点となるのは、既に、「歴史」になりつつある20世紀にあった！教養として過去を知る本です。

デマンド交通

利用者(大湫～日吉東部)
10月 35便 延べ63名

皆さん、もっと々利用してくださいね。利用者が少ないと、運行本数が減ってしまうかも・・・！

瑞浪市寿大学合同研修 — 「女城主・直虎」ゆかりの地へ —

「女城主 直虎」(NHK 大河ドラマ)が放映中で、浜松周辺は今、注目の地。この、ドラマの展開に重要な役割を果たすのが龍譚寺^{りょうたんじ}。今年、瑞浪市寿大学合同研修会(11月16日、39名が参加)の行き先となり、大湫寿大学からは、5名が参加しました。

この龍譚寺は井伊家の菩提寺。開基^{ぎょうき}は行基と言われ、古刹です。ドラマで一躍有名になったものの、それ以前からも庭園はよく知られていました。小堀遠州の作庭で、四季折々に訪問者に感銘を与えます。

井伊直虎の時代、住職は南溪和尚。彼は井伊家のいわば軍師。300年続くこととなった徳川幕府を支えた井伊家。そのキーマン^{なおまさ}直政が徳川に仕える上でも、南溪和尚は重要な役割をはたしたようです。

寿大学の一行が到着したのは10時前。それでもすでに多くの参観者で賑わっていました。ボランティアと思われる地元の案内者も活躍中です。「今年は暖かく、モミジも紅葉が遅れ気味。いろんな種類の木があるから、一年を通して落ち葉の清掃をしないと…」と清掃ボランティア氏。



ドラマの中で、たびたび登場する「井戸」。井伊家の初代が誕生したとされる井戸です。ドラマでは山の中になりますが、実際の井戸は田んぼの中。井戸に行く通路もすっかり整備されています。

「経済効果は大きいだろうネ」「来年の朝ドラは、岩村がロケ地だがネ」「釜戸の竜吟湖でも



撮影したんよ」

「エキストラの
声が掛からんか

ったがねー」などと、話題は少し違う所にも発展していきます。

「ドラマ館」にも寄りました。館内にはドラ

マ作製にかかわったエピソードや衣装、撮影風景、登場した俳優のサイン色紙、等々が見られます。ドラマを視聴してきた人には、放映されたシーンがよみがえるのではないのでしょうか。

天候にも恵まれ、快適な研修日となり、全員無事に予定より少し早く瑞浪に着きました。参加の皆さん、お疲れ様でした。

今年最後の「クテの市」開催(11月30日)

5月18日(木)から開店した「クテの市」。11月30日は、今年最後の開店となりました。開店からおよそ6か月、多くの方にご協力をいただきました。提供される野菜類も多彩で、春のワラビや山ウドなどの山菜から秋のギンナンやムカゴまで、里山ならではの商品も並びました。テントやテーブル、さらに「幟旗」も整備され、それらしい「クテの市」になりました。

購入される方は、街道歩きの方、町内の方とさまざまでした。また、一般市場ならあり得ない、「少人数の消費に合った」数種類の野菜が混ぜられた商品、新鮮で安心して食べられるものが、およそ220件(11月19日現在)提供されました。

来年5月まで休店ですが、来年の出品に合わせ、作付け計画をぜひお考え下さい。ご協力ありがとうございました。

来年もよろしくお祈いします



リ・アップ “ひよも” だより

12月のお茶のみ会のおさそい

日時：12月6日(水曜日) 9:30~11:00頃まで

場所：ふれあいセンター

参加費： 50円

お待ちしております

賑やかで、華やかだった秋の大湫宿往来

JR さわやかウォーキング

19日(日)、雨の心配をしていましたが、この日は朝から青空。『JR さわやかウォーキング』のコースとなっているこの大湫宿にもたくさんの方が訪れました。釜戸駅から、細久手宿方面から、マイクロバスを利用された団体(恵那、静岡)など総勢1,500人ほどにもなりました。

今日のおもてなしのメインは、侍女姿の娘さん。二人の侍女が宿内を往来し、一緒に記念写真のサービスをしました。皆さんとともに「和宮」(徳川家茂正室。一行は大湫宿に一泊)を偲んでもらおうと企画されました。

私達がお出迎え



団体さん、木枯らし紋二郎?、外人さんにかわいいお客さんと記念写真をパチリ!



丸森邸は内も外も、大賑わいです

丸森邸内では和宮イベント(H14年)時に使った内掛けと駕籠を展示。

宿内の見どころ(高札場、観音堂の絵天井、1,300年の大杉、新しくなった神輿、町並みなど)をボランティアガイドさんや寺・神社の役員さんに協力をいただいて案内しました。



食事のおもてなしは、五平餅、アユの塩焼き、からあげ、焼き鳥など。持参されたおにぎりに加えていただけたかもし

紅葉がきれい！



れません。

午後には、曇から小雨となりお帰りの心配をしましたが、何とか無事に終了することができました。参加された皆様・関係者の皆様のご協力のおかげで良い一日となりました。

ありがとうございました。



ほ～かね、ありがとうネ!!
よお焼いとるで、おいしいにい…



ああ、やっと食べれる。これが食べたかったにい…



高校一年 小出真太郎さん
板橋 瑠南さん

「消防協力者感謝状」
*町内の火事で初期消火に協力したとして高校生二名に感謝状



おめでとうございます。お二人は、「地域貢献を」と中学生の時から積極的に町の行事にも参加されています。これからも、よろしくお願いしますね…

「市功労者表彰」

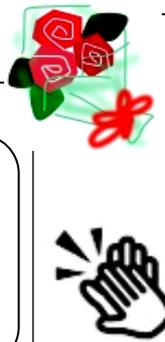
- * 地方自治労 大湫財産区議員 三浦順三氏
- * 消防功労 消防団員 安田清和氏
- * 善意・善行 里親制度で長期に市道の維持管理に貢献

大湫町区長会

皆さん、おめでとうございます

「新聞記事感想文」

- 全国コンクール
 - * 優秀学校賞 釜戸中学校
- 一昨年の奨励賞に続く受賞です。



丸森だより

この9月より「丸森邸」に月に3日程ではありますが、勤務する事となりました。微力ではありますが、頑張って参りたいと思います。

丸森邸は平成26年2月の大雪により、ひさし等が被害を受けました。国の登録有形文化財のため大湫町では、その対応に大変苦慮していました。

そんな状況の中、森川訓行氏が土地建物を瑞浪市へ寄付をされ、瑞浪市は町が中山道宿場として活性する上でその核となるように、昔の姿に復元し観光案内所として活用する事となりました。現在、神明神社の大杉とともに観光の目玉として立派にその責務を果たしています。

私は26年の雪被害の時より区長会長としてその任をつかさどり、皆さんと共に活用と対応を進めてきた事業だけに人一倍強い思いがあります。何か良い方策はとか、スムーズな活動方法は・・・、等々思いをはせていました。

最近になり丸森の勤務に人員不足の時があるという事を聞き、大湫町に少しでもお役に立てればと勤務する事となりました。歴史の事や大湫町の歩みなど解らない事ばかりです。今まで勤務されてきたメンバーの皆さんに教を乞い頑張りたいと思います。

今後共ご指導の程よろしく願いいたします。

板橋仁晃

11月の活用事業「和宮を偲んで」内掛け・駕籠の展示はいかがでしたか。

19日(日)のJRさわやかウォーキング時には、地元2人の娘さんたちのご協力で、侍女姿での往来と記念写真に華を添えていただきました。みなさん大変喜ばれました。ご協力ありがとうございました。

さて12月には、「もち花」を飾りつけ正月や小正月の準備をしていきますので、皆様のご来館をお待ちしております。

《追伸》

丸森の入館者が9,300人(11/20現在)を超えました。年内に10,000人を達成できそう??

なお、ツクルテ・JRウォークキングのイベントだけの参加者を含めると、すでに14,000人以上の方がこの大湫宿へと足を運んでくださったこととなります。



12月「もち花」をかざるよ。来てね

生きものがたり (6)

ボスはメスの認知できる。宮崎県の幸島^{こうじま}。この島に生息する野生のニホンザルは、それぞれに名前がつけられ(個体識別)、50年以上にわたって研究が続けられてきました。その結果、いろいろな発見がありました。その一つがニホンザルの「文化」。「イモ洗い文化」。

この島のサルは餌付けのためにサツマイモが与えられていました。イモに付いている土を水で洗って食べる。さらに、洗うだけでなく食べるたびに海水(塩水)にイモを浸すという「行為」が生まれました。これを始めたのは、後に「イモ」と呼ばれるようになった子供のサル。このイモ洗いは、友だちから若者のサルへ。さらに母親のサルに伝わり、最後に大人の雄ザル。このように伝播しました。



「イモ洗い」という新しい「文化」を創造するのは若者でした。

人間社会に目を転ずればファッション、SNSなど、新しいことの多くは若者から始まります。若者は挑戦や冒険をいとわず、老人は現状維持派。老人を保守的にするのは、長らく生きてきた経験の蓄積がそうさせているのかも…。

この幸島でボスの交代が起きたのではないかと報じられました(2017年9月)。この島は本土と200メートルほどしか離れていず、2017年の2月から干潮時には歩いて渡れる砂の道が出現しました。監視員の目を盗んでボスザルの「ケイ」がたびたび本土にわたるようになっていました。ところが今年8月の台風で砂の道が消失。この島のサルを研究対象にする京都大から、ある報告がありました。順位1位の「ケイ」が見られなくなり、順位2位の「シカ」がボスの座に就いたようだ。ケイはより多くの餌を求めて本土にわたったのか、それとも好奇心だったのかは不明。だが、「政権交代」が起きたことは事実のようです。

ニホンザルのボスになるには、メスザルの支持が不可欠です。この社会は、ボスザルが雄ですから雄(男性)社会に見えますが、観点を換えれば雌(女性)社会。メスは生まれた集団を離れません。オスは若者になると集団を離れていきます。そのため、サルの社会はメスによって保持されているわけです。そして集団のボスとなるには、群れの中で優位なメスザルに支持されて初めてボスとなれるのです。幸島の例は、人間が餌付けしたためにみられる特異な現象だとの説が有力です。だが、人間社会を映し出しているように思うのは、私だけでないかもしれませんね。

平成29年度夢づくり交付金事業

大湫宿「花の森再整備事業」

大湫宿の景観緑地の役割として“憩いと癒しの身近な森”「花の森」整備が30種のサクラ2000本とシャクナゲの植栽を平成11年に行われました。これを皮切りに今回は、東屋と駐車場整備を自然保全委員会が中心に町民ボランティアにより実施されました。



① 5月7日：駐車場拡大作業

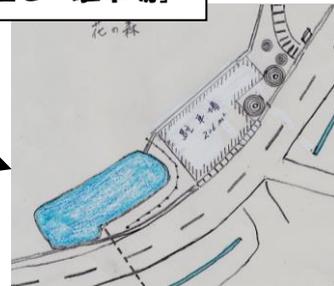
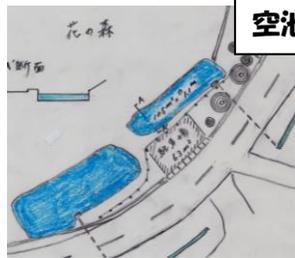
・幅広く市民や遠方利用者拡大のため、空池を埋め立て14台分の駐車場を確保。



空池の埋め立て「駐車場」

② 6月24日：駐車場整備

・残る2つの池の安全柵の補強と採石敷き、U字溝埋設、枕木敷設作業。



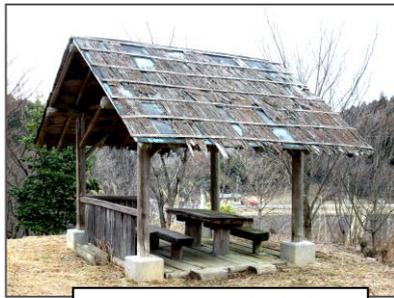
安全柵の補強



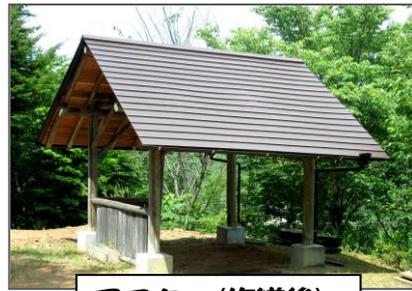
U字溝埋設他

③ 6月24日：東屋の屋根葺き替え

・築12年を経過し屋根部の桧皮及び野地板が腐食し、雨漏りが発生のため宿場全体の景観に配慮した最適な屋根材への変更作業。



ビフォー(修繕前)



アフター(修繕後)

④9月9日：東屋周辺整備

- ・ 東屋内の休息用ベンチ及び机等を間伐材を利用し設置。



これ全部、間伐材を利用して作ってあるにいい!

床のアイテムもええのぉ～

えろー、ハイカラなベンチが出来たなァ

東屋から見える「旧小学校」は絵になるなァ～



⑤11月25日：最後の作業

- ・ 駐車場周辺の整備とアジサイの植栽
- ・ 遊歩道の整備



整備にあたって作業に参加いただきました皆様お疲れ様でした。四季が感じられる森になる事を願っています。

また、来春のサクラの咲く頃に完成

記念イベントを計画中です。その時はよろしくお願ひします。

転入者の現況について

神田地区に転居していた市川恵太さんが、転出となり、その後には早坂一貴さん菜子さん御夫妻が入居されることになりました。(11月30日交替)

北区安藤家への入居者は、廣田保雄さん御一家です。只今改築中の為入居は年明けになるようです。

西区の足立妙子さん宅(柳屋)への入居者は、青木宏さんご家族4名です。引越しは11月18日・19日でした。小さなお子さんもいらっしやいますので、宿内にもぎやかになるでしょう。皆さままで温かく迎えたいと思います。

(追伸) 先日の「オオクテ・ツクル」の折に、瑞浪市役所まちづくり推進部市民協働課移住定住相談ブースが開設され、その結果13件の移住相

談を受け付けました。

このような状況を受けて、転入対策委員会も町が元気になるよう、お手伝い出来ればと思っております。

大湫町コミュニティ推進協議会

転入対策委員会

来年のカレンダー寄付

柳屋の足立妙子さんから、来年のカレンダー一五〇本を大湫町へご寄付いただきました。

イラストレーター木村章一氏の昭和を彷彿とさせる挿絵や新装なった「丸森邸」の図柄などを活用した大湫宿に相応しい作品になっております。町内各世帯に配布させていただきます。

ますので、ご活用ください。

また、個人的に入用な方には、「おもだかや」で一本三百円(数量限定)でお分けしますのでお求めください。

十一月の俳句



天野辰代

つるべおと
釣瓶落し褪せる帽子の六地藏

初雪のアルプス見える里に住む

山口雪子

秋うらら屋根に石置く山家かな
からまつ
唐松の色添ふ頃や秋惜しむ



栄枯盛衰は世の習い

中山道が開通して四百有余年、京都と江戸を結ぶ国道として、大勢の旅人が往来した。参勤交代の大名や姫君の行列は、千人、二千人のお供が同行した。宿泊ともなれば大変、宿内は人で大混雑になっただろう。中でも和宮の江戸へのご降嫁の折は、五千人の行列だったとか。

今まで行われた「JRさわやかウオ―キング」に三千の人が来たことがあったが、狭い宿内は人であふれた。

格別に見るべき建造物もないが、「大湫宿」の魅力は、自然のたたずまいと、シンボル大杉は何回見ても壮大だという人が多い。それと開催の都度、町民が出役して温かく迎える宿場の気風が今も残っているという。唯一、一人でも多くの来訪者があれば満足し

ている。

住人が減少する時代、大湫が気に入って定住する人があればと思っっている。市からも観光地の目玉として、大湫宿の整備に格別の配慮を頂いておくことに心強く思っている。

五十年前、青年達が作った岳見高原キャンプ場が、時勢に勝てず、今年取り壊されてしまった。又、町民にとって「心の拠り所」だった小学校が、いよいよ解体される事になった。もう見られないと思うと寂しい。

一方で、大湫の夜明けとなった農免道路の開通と共に、中仙道ゴルフ場が誕生、大湫病院を誘致することが出来た。今年一月四日より懸案であった公民館と丸森邸が指定管理となって「大湫町コミュニティ推進協議会」に業務委託された。責任は伴うが、「自分達の町は自分達で守る」。やり甲斐があ

る。「新森」の有効利用や「米屋」の活用も宿題になっている。市にお願いするばかりでなく「転入対策委員会」の活動に期待したい。

過日開催された「オオクテ・ツクルテ」のイベントは四日間に五千人が訪れたとか。「観光の町」として新しい町づくりが始まると思うが、「ものづくり」や中山道大湫太鼓で活動する「集まるう会」。毎月二回開かれている「おしゃべりサロン」も町内外の人の親睦の場になっている。高齢者の憩いの場「ひよも」も開かれている。いずれも五十代から六十代の女性を中心に頑張っている。男は地域の環境整備に折にふれ出役している。

ふと、この状態が何時まで続くか、心配が残る。

文責 天野長三郎



大湫の師走は大忙し！

『大しめ縄飾りづくり』

日時：12月17日（日）

午前8時から

場所：大湫公民館

会費：500円（昼食代）



『門松づくり』・・・大湫公民館・丸森邸ふれあいセンター

日時：12月21日（木）

午前9時から

集合場所：長谷川宅作業場



『越年マラソン』12月31日(大晦日)

スタート時間：23時45分頃予定

*詳しくは配布するチラシをご覧ください。



エァ〜!でも、
年越し蕎麦が食べ
れる...

マラソンの後は、除夜
の鐘を撞きましょう



*大湫宿お休み処

12月はお休みしています。(3月まで)

*おもだか屋『ほっか』

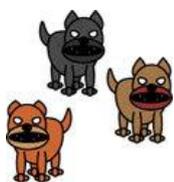
12月営業日：(原則)毎週金、土、日曜日 営業時間：AM10:00~PM2:00

(ただし、営業日は変更になる事もあります。)



野良犬に注意!!

恵那市武並町から瑞浪市にかけて、のら犬がいるとの事。皆さん、注意して下さい。また、飼い犬の放し飼いをしないようにしましょう。



旧大湫小学校舎記念展

惜しまれつつ解体が決まった校舎の思い出を写真や「オオクテ・ツクルテ」で描かれた『ライブ・ペイントによる校舎』などで紹介します。

期間：12月27日まで

会場：公民館ロビー

区長日記

文化の秋を迎え、小中学生の美しい歌声や、女性コーラスの温かいハーモニーが、ふるさとへの街並みを流れ、今を生きる私たちを祝福してくれているようです。また町民の皆さんの手作りの芸術が、生活の場に多くの潤いを与えてくれます。歴史の造形美であります宿場町や自然の造形美であります秋の紅葉を求め、今年も多くの人々が大湫の地を訪れました。

収穫の秋に感謝し、神前に合掌するとき、どうかこの大湫が末永く人々の憩う場所になり続けますようにと祈り、これからもその方法を模索していきたいと思えます。

今月1日には、大湫小学校跡整備、宿場の古民家再生、危険木の撤去事業、学校統合に関わる通学対策などを内容とする要望書を市長に提出し、行政と力を合わせ、ふるさとへの活性化対策を推進していく所存です。

時代の曲がり角に直面している地域の課題は尽きませんが、力を合わせて一つひとつ取り組んで行きましよう。

区長会長 足立

11月1日	市長要望申し入れ、文化祭準備作業
2日	釜戸小・中学校合同音楽祭
3日	大湫町文化祭
4日	市道等危険木現地調査
9日	区長会市政功労者表彰・定例区長会・幹事会
10日	瑞浪市自治連合会議
11日	長寿会花壇づくり
12日	瑞浪市戦没者追悼式
14日	公民館事業「趣味(男)の料理教室」
18日	夢づくりチャレンジ研究室発表会
19日	JRさわやかウォーキング・本陣山登山道調査
21日	自治連合会県大会(大垣市)
23日	神明・白山神社「新嘗祭」
24日	カタノピッグファーム場内視察
25日	夢づくり事業「花の森」植栽活動
26日	釜戸・大湫「ひなたぼっこの集い」
28日	民生委員会百周年事業

平成二十九年十二月行事予定

予 定

日	曜	予 定
一	金	定例区長・幹事会／釜小五年4校 交流会（土岐・明世・日吉・釜戸）
二	土	子ども会（クリスマス会）
四	月	財産区全員会議
六	水	リ・アップ「ひよも」
七	木	竜吟幼児園お楽しみ会
九	土	おしゃべりサロン 大湫宿景観協議会視察研修（中津川）
一四	木	各種団体長会議
一七	日	大しめ縄飾りづくり
二一	木	門松づくり
二二	金	竜吟幼児園クリスマス会
二三	土	*天皇誕生日
二六	火	幼・小・中終業式
二七	水	広報委員会
二八	木	仕事納め 年末夜間特別警戒（～三十日まで）
三一	日	越年マラソン

今月の資源ごみ:12/19(火)不燃ごみ:12/6(水)

編集後記

いよいよ師走。年の瀬が迫ってきました。十二月と聞くだけで、なにか心がそわそわしたりして・・・！
今年を振り返ってみると、大湫町コミュニティ推進協議会が指定管理者となり、公民館と丸森邸が指定管理の下で新たにスタートしました。

一月の大きな行事（まちづくり三十周年）を皮切りに、十一月の文化祭まで本当に目まぐるしいと言っても過言でなくらいの忙しい日々が続きました。ご協力いただきました皆さんに感謝申し上げます。
まだまだ、師走にも行事を控えていますので皆さんよろしく願います。そして良いお年を・・・

編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
平成29年12月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL.0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp/>